



日本防災士会
北海道支部

北海道 防災士会 会報

2013.7

5/25 防災研修会（札幌市民防災センター）

道防災士会 定時総会 開かれる



昨年発足した道防災士会の2回目定時総会が5月25日札幌市内で開かれました。発会から1年、徐々にですが活動も充実してきました。今号の会報では、どんな活動をしてきたのかをご紹介します。

【平成24年度の主な活動】

①研修会

6/10 アジアアフリカ消防長会議 (IFCAA) 国際消防救助隊訓練等の見学

10/6-7 有珠ジオパーク災害現場視察・体験学習

3/6-7 札幌管区気象台、道立地質研究所での見学。気象観測・緊急地震速報、新しい津波基準、地震・活断層などについての研修

会を実施しました



②イベント・行事・訓練指導等

9/1-2 もしも北海道 来場者対応のボランティア、および防災士会 P R として会報誌を配布しました



9/15 新琴似南地区連合町内会 防災訓練にて、指導監督



特集 2012 年度総括 これからの活動

北海道防災士会 会員募集中

道防災士会では、会員を募集しております。日本防災士会に登録されている方ならお申込みいただけます。事務局まで、メール、Fax 等にてまずはご一報ください。

会員の知識・技術向上に向けた研修をはじめ、道内を中心とする防災士の活動を行っております。会員は38名(7/1 現在)おり、今号のニュースの中でも触れているように個人では困難なことも、可能になる機会が増えます。

防災士の活動をしやすくする資機材があります



道災士会としての活動の際には是非という会員の声に応え、活動服等を作成(発注とりまとめ含む)しました。いつ起きるかわからない災害支援にも対応できるようにのぼりや車両に取り付けるための横断幕も用意しています。

ここの道防災士会 活動はどうなる

道内でも防災意識の高まりとともに注目を集めている防災士ですが、これまで同様、会員のスキルアップのための研修会を実施します。現在、25年度の具体的な研修内容はまだ計画中ですが、会員の持つ専門知識の共有、非常災害時の協力体制づくり、行政や地域など各方面との連携につながる様々

な研修になるように内容を吟味し、関係方面と調整作業をしています。研修内容はタイムリーな事象(気象災害等)はもちろんですが、発生から年月が経ち、皆さんの記憶・教訓が風化しつつある災害についても積極的に学ぶ機会を設けたいと考えています。たとえば昨年の火山災害学習がそうです。

・町内会や企業、行政など、各方面から道防災士会に対して講演、指導やイベントの共同開催の打診があります。学校や企業等での災害訓練の監修や防災計画書の内容チェックなど、今後防災士の需要は高まる一方です。

防災士の活動を知ってもらうために

・道防災士会の活動内容はすべてではありませんが、日本防災士会のホームページへ、支部の活動ということで報告・掲載をしています。広報活動は防災士がどのような人たちなのかを広く知ってもらうことで、私たち北海道の防災士が地域活動を行いやすくする目的があります。



「Scene(シーン)北海道」(全道で配布)に「防災士をご存知ですか?」というキャッチコピーとともに、広告を掲載しました。防災士の活動を理解してくれる編集者のご厚意もあり実現したのですが、防災士そして道防災士会への理解を深めるための一助となっています。Scene は 2013 年春創刊のフリーマガジンですが、掲載の反響は大きく、道防災士会への会員加入のみならず、伝え聞くところによると防災士の資格取得へのきっかけとなった方もいらっしゃるそうです。なお、Scene 第2号でも道防災士会の告知を掲載しております。機会ございましたら是非手に取ってご覧ください。

気兼ねなくお問い合わせください

道防災士会へのリクエストなどございましたら、どうぞ事務局までご一報ください。まだまだ防災士会の会員ではないが活動に関心の高い方も構いません。FAX・メールにてお待ちしております。

北海道防災士会事務局

〒001-0904

札幌市北区新琴似 4-6-5-3

FAX 011-762-3779

mail@hokkaido-bousaishikai.com